

【参考】調査の概要

■調査Ⅰ：「庭の緑」調査概要

調査機関：2017年2月8日～10日

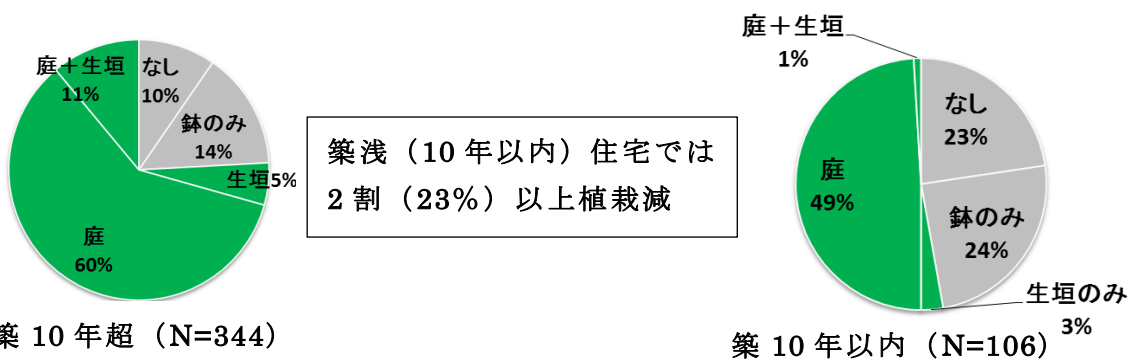
調査場所：杉並区・中野区・渋谷区内の3ブロック

調査件数：450軒

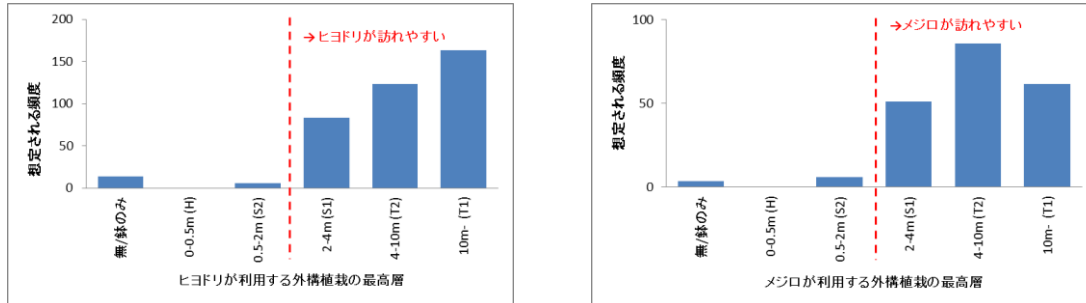
調査方法：各ブロック内に500mのラインを3本想定（1本あたり50軒）したうえで徒歩で目視確認
各戸の植栽内容を①緑無し②鉢のみ③生垣④庭⑤庭＋生垣に分類して集計

■調査Ⅰの結果

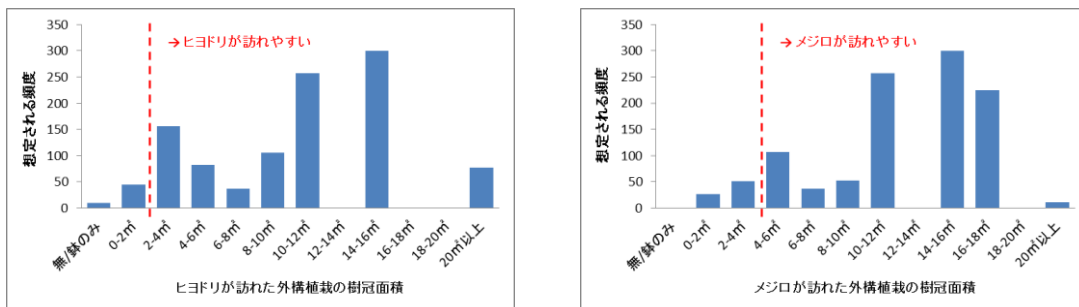
- ・築10年以内の築浅住宅は10年超の物件より植栽率が23%減



- ・ヒヨドリ・メジロは樹高2.4m程度の高さがあればの樹木に多く訪れる



- ・ヒヨドリは樹冠2㎡、メジロは樹冠4㎡程度でも多く訪れる



■調査Ⅱ：「まちもり」植栽の階層構造と鳥の利用に関する調査

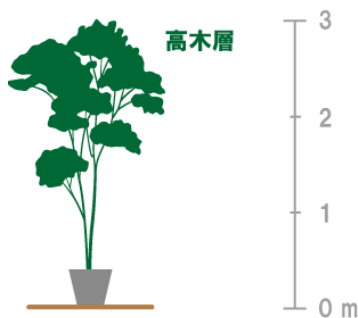
調査期間 2017年7月18～21日、26～28日の計7日間（時間帯は6時～18時）

調査地：滋賀県守山市 県営都市緑地公園「びわこ地球市民の森」

調査方法：階層構造をもった植栽と階層構造を持たない植栽を同時に設置し、鳥類による利用を定点観測する。



3層の階層構造を持った植栽



階層構造のない単層の植栽

■調査Ⅱの結果

- ・スズメ、ヒヨドリ、ホオジロ、モズ、ムクドリ、キジバトの計6種が飛来
- ・飛来回数合計30回
- ・階層「有」で19回、階層「無し」で11回飛来

